

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)上新電機高槻店	階数	地上4F
建設地	大阪府高槻市大畑町342-1、341-1	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	0人
地域区分	5地域	年間使用時間	0時間/年(想定値)
建物用途	物販店、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年5月 予定	評価の実施日	2018年5月2日
敷地面積	5,102 m ²	作成者	上田
建築面積	3,024 m ²	確認日	
延床面積	8,910 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30% ☆☆☆☆ 60% ☆☆☆ 80% ☆☆☆ 100% ☆☆ 100%超: ☆

①参照値 100% (184 kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み 65% (92 kg-CO₂/年・m²)

③上記+②以外の 65% (92 kg-CO₂/年・m²)

④上記+ 65% (92 kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.7

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.9

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.2

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.4

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.1

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.7

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.4

3 設計上の配慮事項		
総合	物販店舗として、コストを考慮しつつも店舗空間の快適性や利便性及び、省エネ効果を考慮した計画とした。	その他 0
Q1 室内環境	室内環境の快適性を考慮した空調設備計画と照明設備計画とした。	Q3 室外環境(敷地内) 沿道沿いの植栽により、周辺環境への圧迫感等を考慮した計画とした。
LR1 エネルギー	売場照明(LED器具)には調光機能付システムを採用した計画とした。	LR3 敷地外環境 建物の省エネ性能を高めて、ライフサイクルCO ₂ 排出率を抑えた計画とした。
Q2 サービス性能	天井高さをH=3.6m以上とし、室内の快適性と室内環境の向上につつ、壁長さ比率を小さく抑え、空間の自由度を高めた計画とした。	
LR2 資源・マテリアル	節水型機器の便器の採用と、汚染物質含有材料を使用しない計画とした。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H30-0018

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	(仮称)上新電機高槻店						
	建設地	大阪府高槻市大畑町342-1、341-1、340-5、340-1						
	用途/区分	物販店 工場						
【評価結果】	CASBEE 総合評価						B+	
①	CO2削減						4	
②	みどり・ヒート アイランド対策						2	
③	建物の断熱性						5	
④	エネルギー削減						5	
⑤	自然エネルギー直接利用						—	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	—

エネルギー消費量の報告

【評価項目】

項目	評価内容	スコア	評価
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	4.4	4
② みどり・ヒートアイランド対策			
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	1.0	2
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	3.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	3.0	
③ 建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	5.0	5
④ 設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	5.0	5
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	3.0	—
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	報告しない

その他

	技術の名称	考慮事項
先進的技術の導入		
特に配慮した事項		